

県外派遣報告書

審判員名	萩野 晃司	所属	実業団
大会名	平成28年度日本実業団バスケットボール連盟 関東ブロック審判講習会		
期間	平成28年6月18、19日		
会場	朝霞市総合体育館・国立代々木競技場第二体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月18日(土)	ルールテスト、実技講習、講義	朝霞市総合体育館	
6月19日(日)	実技講習	国立代々木競技場第二体育館	
会議 講義 内容			
<p>テーマ 「チームとプレイヤーに信頼され、観客に感動を与えられる審判員」</p> <p>テーマについて審判員が何をしなくてはならないのかと言うと、ルールを理解し適用すること。そのことによってチームやプレイヤーに信頼される。</p> <p>シンダーやリーガル・ガーディング・ポジションを十分に理解し判定することが大事。感覚(形)や憶測で判定しないこと。</p>			
実技			
担当試合	期 日	6月18日(土)	男子(3部)
	対戦カード	龍神BONDS VS リコー	主審
	相手審判	南 明範 氏(神奈川)	
ミーティング内容		主任 北沢 岳夫 氏	
<p>全体的に丁寧な吹き上げていて、ゲームもスムーズに運営されていたと思う。</p> <p>プレゼンテーションをもっと良く見せた方が信頼感も増し、説得力のある判定に繋げられる。</p> <p>課題であるトレイルの動きや判定については違和感もなく別に何も思わなかったもので、自分でビデオを見て、確認して欲しい。ただ、角度が瞬間的に変わったときにどう動きスペースを捉えるのか考えてほしい。</p>			
全体の感想			
<p>主審としての割当が多くなっているので、ゲームコントロールやベンチの管理を気にしながらゲームに臨みました。ゲーム自身難しいケースも無く取り上げるべくファウルは取り上げていたと思います。</p> <p>課題にしていたトレイルの動き方や視野の当て方について、主任から違和感はないと言われましたが、角度が変わった瞬間のプレイの捉え方を今後工夫して判定していきます。</p>			
実技			
担当試合	期 日	6月19日(日)	男子(1部)
	対戦カード	日本無線 VS 黒田電気	主審
	相手審判	桑原 一貴 氏(東京)	
ミーティング内容		主任 小野寺 浩 氏	
<p>前半はお互いが自分のエリアを中心に二人で協力しながら判定していたので、とても良かった。</p> <p>後半に入り、一人の選手の接触をノーコールにしてしまったところからゲームが変わってしまい、判定もぶれ始めてしまった。その後の対応も曖昧になってしまい、残念だった。前半の良かったところを思い出しながら、次のゲームに臨んでほしい。</p>			
全体の感想			
<p>ゲーム前、結構なBIGゲームで緊張していたのですが、自分の今出来ることを精一杯やろうと臨みました。その中で、前半は選手もベンチも大きな問題はなくスムーズにゲームが進行していたと思います。</p> <p>反省にもありましたが、後半の一つの現象でゲームが変わってしまい、本当に残念でした。持続できるメンタルを持ち続けられるように、次に何をしなくてはならないか探していきます。</p>			